

# 全日本ジュニア テコンドー選手権大会 2015 個人マツソギ※ 51キロ級 優勝

※マツソギとは相手のこと

「優に千を超える多彩な足技が、  
テコンドーの魅力」と話します。

蒲原中学校 2年  
さいとう たいが  
齊藤 大河 さん



齊藤さんは昨年と同大会  
45キロ級優勝に続き、51キ  
ロ級でも優勝。見事、連覇  
を果たしました。小学1年  
生からテコンドーを始めましたが、小  
学6年生まではなかなか結果が出ず  
「続けていく自信がもてなかった」と  
言います。そんな時、転機となったの  
は、小学6年でつかみ取った準優勝で  
した。昇段試験に向けて大人に交じっ  
て練習を始め、特に頑張っていた時期  
だっただけに、この「準優勝」という  
結果が自信になり、「もっと強く、もっ  
とよくなりたい」と感じるようにな  
りました。

小学1年生の時から指導をしてきた  
道場の高先  
生は「よく相  
手を観察し、で  
きることをコツコツやっていく堅  
実な選手」と齊藤さんを評します。  
齊藤さんの今後の目標は、来年行わ  
れる世界選手権の優勝です。その  
ための課題は利き腕でない左の強  
化や技のバリエーションを増やす  
こと。そして外国人選手の長いリ  
ーチや強いパンチなどへの対応力を  
身につけることです。今できる練  
習を着実に積み重ねながら、次の  
目標へと動き出しています。

## すごいね！ あだちの 子どもたち

VOL.16

「みんなが驚くような一体感のある  
演技をすることを目標に、練習に取り  
組んできた」という千寿青葉中の新体  
操部員たち。幼少の頃から同じクラブ  
に所属し、年間約360日、平日は学  
校が終わってすぐに、土日は朝9時か  
ら夜9時まで練習があり、家族よりも  
一緒に過ごす時間が多くなります。し  
かし、時間以上に一体感を深めている

のは、「思ったことは心にしまわずに  
口に出してしっかりと伝え合うこと」  
です。「本首をぶつけ合うことで、お  
互いの気持ちが分かり、本当の5人に  
なれた」と語ります。

華麗な演技の裏側では、1日にスト  
レッチを1時間、基礎体力づくりを1、  
2時間と地道なトレーニングも大切に  
しています。また、「普段から姿勢や  
身だしなみなど、周りからどう見られ  
るかを意識します」と常に新体操中心  
の生活です。そういった一つひとつの  
積み重ねが、全国大会準優勝という輝  
かしい結果に結びつきました。

競技中は、審査員からの  
点数以上に、見てくれる  
人たちに自分たちの新体  
操への思いをいかに伝え  
るかを大切にしています。

なつはら あみ さん  
夏原 杏実 さん

たきい みお さん  
瀧井 美緒 さん

さかい ひまり さん  
堺 ひまり さん

きたむら あゆ さん  
北村 あゆ さん

すずき ゆうな さん  
鈴木 優南 さん

千寿青葉中学校  
新体操部

第46回  
全国中学校  
新体操選手権大会  
団体戦 準優勝

◆教育政策課 教育政策担当 ☎ 3880-5962

問合せ先

「あだち教育だより」にご意見・ご感想をお寄せください。

足立区教育委員会事務局 教育政策課 ☎ 3880-5962 E-mail: k-seisaku@city.adachi.tokyo.jp

「美しいまち」は「安全なまち」

ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中

足立区 8

印刷番号 27-313